

## アベノマスク「産着にも・カイワレ栽培にも使える」

## 維新 苦しい助け船

「これ、産着(うぶぎ)なんですよ」。3日の衆

院予算委員会で、日本維新の会の市村浩一郎議員が、安倍政権が調達した布製マスク「アベノマスク」5枚をつなぎ合わせて作った「産着」を取り出し、政府側と奇妙なやりとりを繰り広げました。

市村氏は、産着を見せながら「アベノマスクを廃棄せずに、このように活用したらいいんじゃないか」という提案がある」と発言。「カイワレダイコンの栽培にも使える」「アクリルペイントを使う学校教材にもなる」などの用途を羅列し、最終的には「ガーゼそのものとしても使える」と述べました。

あびこに市村氏は「もうマスク以外にも使ってもいいことを大臣の方が

## 「税金の無駄」言えず迷「活用法」披露

らおっしゃっていただければありがたい」と発言。後藤茂之厚生労働相は「いま指摘いただいたようなことも含めて、有効に使っていただきたい」と答弁しました。

しかし、「いへび」活用法」を並べようとも、感染防止として使い道がなければ税金の無駄遣いだったことに変わりはありません。後藤氏も「マスク」としては使えないことを公然と認めてしまう始末です。

《世紀の愚策》といわれるアベノマスクですら、問題の本質に切り込むことのできない維新。政府への助け舟としてアベノマスクの「活用法」を披露しましたが、かえってその愚策ぶりを浮き彫りにする結果となりました。

(侃)